

広報

あまた

No542

11

小さな胸に 大きな願い
すくすく、すくすく、大きくなあれ

11/9 世田米保育園・七五三参りでのコマ

11月の主な内容

- P2 森林・林業計画を策定
- P5 秋の叙勲・多田俊一さんが受章
- P6 町文化・産業まつり
- P8 まちの話題「東西南北」
- P10 情報キャッチボール
- P11 事務事業の収支決算
- P11 新潟県中越地震・職員派遣
- P12 スポーツコーナー

●全体像

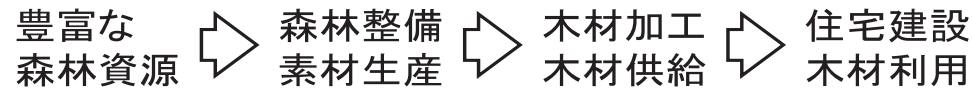
森林・林業日本一のまちづくり

基本的な目標

- ◎ 環境と調和しながら循環する森林・林業の実現
＝住田型森林（もり）業システムの構築
- ◎ 「住田町」自身を、森林・林業のブランドとして発信
- ◎ 森林・林業日本一のまちづくりに対する町民の理解と協働

施策の取組方向

川上から川下までの林業振興～新たな取組みへの土台



新たな展開の3本柱

- 森林認証を通じた豊かな森づくり
- 木質バイオマスによる森林エネルギーの循環
- 交流の結び目となる「森林（もり）の科学館構想」

- ◎新たな担い手
- ◎川上の強化

期待されること

- ◎町内経済の活性化
- ◎町内雇用の創出
- ◎住田町の特色の明確化
- ◎町民の自信・誇りの醸成

町民ができること

- ◎森林を守り、育てる
- ◎イベントに参加する
- ◎木材を有効に利用する

私たちにできること

◎住田の山へもう一度目を向け、森林へ足を運んでください
まず、森林へ入ってみてください。それだけでも、大切な森林環境教育になるはずです。
◎イベントに参加してみたいかがでしょうか
町は森林・林業に関わるイベントを開催していますので、ぜひ参加してみてください。私たちの周りを囲む山々への見方が変わるかもしれません。
◎木材製品を手に取り、使ってください
私たちが木材製品を使うことは、森林・林業とのつながりを持つ第一歩です。さらに興味を持つならFSCのロゴマークや木質ペレットを探してください。もうすでにあなたは「森林・林業日本一のまちづくり」に参加していることになるのです。
◎計画書をお読みください
皆さまの協力がなければ、この計画は進展しません。計画書をお読みいただき、地域の皆さまと共通理解のもとで事業を進めていく必要があります。
計画書をお読みになりたい方は、左記までご連絡ください。

◆問い合わせ先 産業振興課 森林施策推進室 ☎46 3861



町民の

理解と協働



環境との

調和



森林・林業中心の循環型社会の形成に向けて

「森林・林業日本一のまちづくり」を策定

町は第三次の林業振興計画となる「森林・林業日本一のまちづくり」を策定しました。計画の期間は平成十六年から平成二十五年までの十年間です。近年見直されてきた森林の持つ公益的機能を維持しながら、林業の復興による所得の向上を図り、日本における林業のモデル地域としての「森林・林業日本一のまちづくり」を進めます。この計画の概要をお伝えします。

基本理念と方向

◎森林への新たな期待
森林には、木材などを生産するだけでなく、
・国土の保全や水資源のかん養
・大気浄化
などの公益的な機能があり、安全で豊かな暮らしには欠かすことができません。
本町の森林がもつこのような公益的機能を金額で評価すると、その額は六百十三億円（県林業技術センター試算）と県内でも上位に位置し、貴重な財産であることを示しています。

◎住田型森林（もり）業システム宣言
このような森林の機能を発揮させるためには、その土台となる林業の振興が重要です。これまで構築してきた「川上から川下まで」の地域林業システムをより強化し、山元に利益が還元できる体制づくり、つまり所得機会としての林業の復興に力を入れます。

◎森林・林業中心の循環型社会の実現を目指す
このような取り組みを通して、森林・林業を主役とした循環型の社会の実現を目指し、この中で核となる森林・林業経営は新たな「住田型森林（もり）業システム」と呼ぶことができます。また、「住田町」自身を森林・林業のブランドとして発信していきます。

◎森林・林業日本一のまちづくり
これは「まちづくり」の計画で、町民の皆さんの理解が必要です。多くの町民が理解し協働できる仕組みづくりを目指します。

◎林業が低迷する中、森林に新たな価値を創るための施策の三本柱を
森林認証を通じた豊かな森づくり
木質バイオマスによる森林エネルギーの循環
交流の結び目となる「森林（もり）の科学館」構想
として、森林・林業の新たな展開を目指します。

本町で森林ボランティア シンポジウムを開催

県は十一月六日、農林会館多目的ホールにおいて「森林ボランティアシンポジウム」を開催しました。

基調講演では岩手大学農学部 山本信次助教授が「森林ボランティアの可能性と現状」と題し講演。「森林ボランティア」誕生のきっかけや現状について説明すると「都会の人は田舎志向が強くなっている。森林ボランティアは今後も広がり余地がある」と強調しました。

この後、山本助教授をコーディネーターにパネルディスカッションを行い、本町からいわて森の達人でもある水野清氏と森林所有者である吉田正平氏が登壇。今後の林業経営には森



木の伐倒の仕方について説明を受ける参加者

林ボランティアも必要であることの認識を深めました。

また翌日の七日には、上中坪にある町有林においてボランティア作業体験を開催。参加者はナタやチェーンソーの使い方の手ほどきを受け、スギ林の枝打ちや間伐を体験しました。

本町の木質バイオマス 農村振興局長賞に輝く

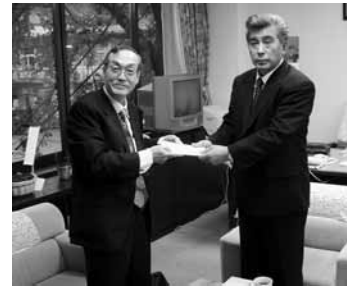
農林水産省が本年度新たに設けたバイオマス利活用優良表彰の農村振興局長賞に本町が選ばれ、十一月十五日に仙台市において表彰式が行われました。

この表彰はこれまで十分に利用されてこなかったバイオマス資源を農林水産業に利活用し、環境への配慮や関心が高い自治体や団体などを顕彰するもので、本町は最高位の大臣賞に次ぐ賞を受けました。



表彰式の様子

積極的にPRしており、今回は本町のほか旧三陸町のキッピンアワビなども紹介しています。



多田町長に完成した本を手渡す千葉教授(左)

森林認証 だより

今回はFSC森林認証商品(環境に配慮し、適正に管理された森林の林産物でできた商品)のうち、住田住宅産業㈱の試作品を紹介します。

今回試作した製品はコーナーラック(高さ90センチ、幅、奥行65センチ、七千円)やワゴン(高さ90センチ、幅45センチ、奥行60センチ、八千円)、すのこ(80センチ四方、六千円)、ティッシュボックス(千円)の四種類。どれも、森林管理認証を受けた町有林の杉を使っていきます。

町産業まつりのほか、十月二十三日・二十四日に開催された「けせん住宅祭」、十一月六日・七日に開催された「陸前高田市産業まつり」でも展示・販売し、大変好評で売れ行きも上々でした。

この製品を購入することは、適正に管理された森林から出



写真は右からコーナーラック、ワゴン、ティッシュボックス



た木材を消費することでもあり、森林の破壊や劣化を防ぐことにつながります。わたしたちの行動が、子どもたちに恵み豊かな森林を残します。

瑞宝双光章に多田俊一さん

―平成16年度秋の叙勲―

本年度の秋の叙勲で、本町からは長年保護司として地域の福祉の向上に寄与された多田俊一さん「清水沢」が瑞宝双光章を受章されました。

多田さんは浄福寺の住職を務める傍ら、昭和四十二年から保護司を務めています。同じ宗派の先輩住職から勧められ、父親の故・祐念氏も保護司だったことから引き受けたとのこと。

保護司とは、法務大臣が委嘱する無給・非常勤の国家公務員で、国の機関である保護観察所の保護監察官とともに、過ちを犯した人たちの更正の手助けをし、地域の犯罪予防に努めるのが仕事。相手の秘密を守ることには一番気を遣っています。信頼関係がなければ話も聞いてもらえませんから」と、その大変さを語ってくれました。

今回の受章について多田さんは「まさか自分が受章するとは思っていませんでしたので」と驚きの表情を見せながらも「話をすればほとんどの人が理解してくれましたが、中



多田 俊一さん
清水沢

には更正したと思っただ人が再び過ちを犯すこともあり、そんな時は本当にガツカリしました」と、これまでの保護司生活を楽しみと振り返っていました。三十三歳で保護司になった多田さんは今年で七十歳、三十七年目を迎えます。受章の知らせがあるまで数えたこともありませんが、そんな年月が経っているとは思いませんでした。あつという間でした」と照れ笑います。

「ここまで続けられたのは家族の支えがあればこそ」と、妻・教子さんの内助の功に感謝していました。

「定年の七十五歳まであと五年。残りの期間も地域の犯罪防止に努めていきたい」と意欲を語っていました。

地域の安全を誓い合う

―第39回町交通安全・防犯大会―

十一月二十一日、第三十九回町交通安全・防犯大会を開催しました。会場の農林会館大ホールには関係者ら約三百五十人が出席。始めに交通事故と犯罪の物故者に対し黙とうを捧げた後、大会長の多田町長が「地域の安全は自分たちで守るといふ基本のもと、安全なまちづくりに取り組みましよう」とあいさつ。

この後交通安全や防犯に功労のあった方々を表彰しました。(表彰者は左の一覧のとおり)

千葉議長と大船渡警察署・伊藤副署長からの祝辞の後、



元気に作文を発表する松田君

交通安全・防犯の作文コンクールの最優秀賞作品が発表されました。松田大季君(世小三年)は、自分が蹴飛ばした菓が自動車にぶつかった経験から「もし菓が自分だったら事故に会っていただろう。誰の『いのち』でも、大切にしていきたいと思えます」と力強く語りました。

このほか、新潟中越地震の被災地に派遣された職員からの事例発表や岩手朝日テレビ「ふるさとCM大賞」参加作品の紹介アトラクションとして県警音楽隊の演奏が行われました。

最後に参加者全員で交通安全と暴力追放を宣言し、閉会しました。



「日本民謡メドレー」など計8曲を披露した県警音楽隊の皆さん

表彰者・表彰団体 (敬称略)

- ◆交通安全功労者 紺野克彦(小府金)
- ◆優良運転者表彰 鈴木英司(川向) 菅村ひろみ(世田米駅) 菊池忠雄(日向) 吉田久一(向川口) 菅戸津義(奥火の土)
- ◆飲酒運転追放コンクール(10年間以上のみ掲載) 【21年間】 姥石自治公民館、恵山自治公民館、大洞自治公民館 【14年間】 大股自治公民館、中井公民館 【11年間】 五葉中自治公民館
- ◆防犯功労者表彰 佐藤泰二(松ヶ平) 河村益男(恵蘇) 佐熊洋一(八日町)
- ◆防犯優良団体表彰 悠々クラブ(瀬川富雄会長)
- ◆交通安全作品コンクール 【作文】 小学生低学年▷最優秀賞=松田大季(世小3年)▷優秀賞=水野咲(下小2年) 小学生高学年▷最優秀賞=水野辰哉(世小5年)▷優秀賞=水野あゆき(上小4年) 中学生▷最優秀賞=大和田幸枝(世中3年)▷優秀賞=菊池つばさ(世中3年) 【スローガン】 小学生低学年▷最優秀賞=泉田あずさ(世小3年)▷優秀賞=大橋優里奈(世小1年) 小学生高学年▷最優秀賞=高橋由希(上小6年)▷優秀賞=菊池太郎(世小4年) 中学生▷最優秀賞=菅野元美(有中3年)▷優秀賞=菅野貴行(有中2年) 審査員特別賞=齋藤優介(有中1年)
- ◆防犯作品コンクール 【作文】 小学生低学年▷最優秀賞=泉田あずさ(世小3年) 小学生高学年▷最優秀賞=高橋祐佑(世小5年)▷優秀賞=横澤将弥(世小6年) 【スローガン】 小学生低学年▷最優秀賞=佐々木由夏(下小2年)▷優秀賞=菅野春輝(世小1年) 小学生高学年▷最優秀賞=水野菜実(下小5年)▷優秀賞=紺野公恵(世小6年) 中学生▷最優秀賞=佐々木愛美(有中3年)▷優秀賞=熊谷みなみ(有中1年) 審査員特別賞=高橋明日香(上小6年)

第32回町文化・産業まつり

今年の町文化・産業まつりは十月二十九日から三十一日の三日間にわたり開催されました。メインの三十一日はあいにくの雨天だったものの、多くの方が来場し多彩な催しを通して文化の秋、実りの秋を満喫しました。



雨の中もなんのその。五穀豊穡餅まき大会



世中2年生による「よさこいソーラン」



大いににぎわった「お楽しみ抽選会」



乾しいたけの詰め放題コーナー



かっこう株分け講習会



町内産の新鮮野菜を販売



左から水に関する相談コーナー、血圧・体脂肪測定コーナー、赤い羽根共同募金



力に合わせて「よしよし!」うまくつけたかな?餅つき大会



元氣いっぱい踊り(下小)



見事な歌声を披露(舞台合同発表会)



町内の7団体による郷土芸能の発表(写真は大股神楽)



お茶飲み話も弾みます(はねっこ羊)



児童・生徒らの作品 795点を展示



一般作品は561点。力作ぞろいでした



児童・生徒木工工作フェスティバルには小中学生から計二百八十五名の参加がありました。森林・林業の町にふさわしい、趣向を凝らした作品ばかりでした(審査結果は次号に掲載)



見事なお点前(茶道)



特別展の「伊達黎明展(上)と「御所湖川村美術館移動美術展」

民俗資料館では「『なつかしの学舎』パート～遊びを知り・楽しみ・創る」と題して、11月15日から29日まで特別企画展を開催。昔ながらの遊具の展示や製作の実演、遊びの体験などが行われました



宝くじ助成で備品を新調

外館鹿踊芸能保存会（佐藤稔会長）は、（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業でこのほど備品を新調し、十月三十一日の町郷土芸能まつりにおいてお披露目しました。この事業は宝くじの普及広報を目的に、各種コミュニティ活動を支援しているもので、同会は太鼓やササラなどの購入に百四十万円の助成を受けました。

昨年は地元の中学生や高校生などの若い踊り手も加入。備品も新しくなり一層活気付いたメンバーは、舞台狭しと威勢の良い踊りを披露しました。



新たな備品をそろえ踊りにも一層力が入る

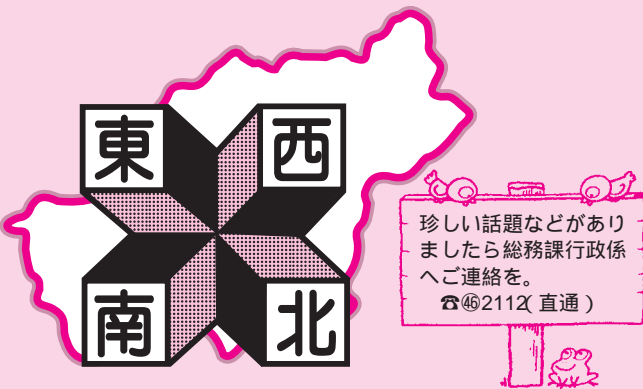
十一月十三日、第一回の森の案内人講座を開催しました。これは本町の豊かな自然を伝えるインストラクターを養成するのが目的で、十二人の参加申込者のうちこの日は十人が参加。

森林総合研究所の八木貴信さんを講師に招き、種山ヶ原森林公園などで木の種類の見分け方などの基礎知識を学び、参加者は真剣な表情でメモをとっていました。



八木さん（左）の説明に耳を傾ける参加者

豊かな自然の案内人



まだまだあるよ、文化祭

ミミミ文化祭の様子



町赤十字奉仕団あすなる会の「あいの会」では十一月一日から五日までの五日間「ミミミ文化祭」を開催しました。この会は月に一回お茶飲み会を開き、付近を通るお年寄りに「あいの」と声をかけ招き入れることからその名が付いたとのこと。

会場となった大崎の松田富男さん宅には平均年齢七六・四歳の約二十人が手芸や思い出の品などを出品。訪れた方々は見事な出来ばえに感心した様子で作品に見入っていました。

世話役の小沢シツさんは「これからこのような隠れた才能を紹介することで、お年寄りの生きがいづくりにつなげていきたい」と話していました。



健康まつり文化祭の様子

一方、県立住田病院（佐藤芳行院長）では十一月九日から十一日までの三日間「健康まつり文化祭」を開催。同病院は平成十一年に改修工事を行ってからは中止していたため、今年は五年ぶりの開催となりました。

院内には職員やその家族、患者らによる生け花や盆栽、手芸品などが展示されました。いずれも手作りの心温まるものばかりで、訪れた人たちの目を楽しませていました。

また、初日には藤田幸子内科医長が「加齢による眼の変化」と題し講話。お年寄りに多い白内障やドライアイなどについて、原因や治療法、予防法をわかりやすく解説しました。

知事が世中で出前授業



増田知事（右）の話に目を輝かせる生徒たち

十一月十六日、増田寛也知事を招いての「出前授業」が世田米中学校において行われました。この日は二年A組（生徒四十人）の五時間目の授業で増田知事が教壇に立ち、まずは「木質バイオマス」について説明。本町が普及を進めているペレットストーブの良さを解説し、「住田町の取り組みは全国でも最先端の町の取り組みを学んでほしい」と熱弁しました。

続いて生徒を指名して自分の夢を発表させると、「実現には人一倍の努力も必要だが、あきらめずに叶えてほしい」と激励。この後、生徒から「どうして知事になったんですか」「岩手県は全国で何位だと思いますか」などと質問されると、一つひとつに丁寧に答えました。

最後に知事は「読書を習慣づけて自分の頭で考える力を身につけてほしい」とアドバイスして授業を締めくくりました。

CD第2弾 テーマは「幸」



完成したCDとチラシを手にする梶原さん

下有住小学校のPTAなどで構成する「プロジェクトX（ベケ）」が、二枚目のアルバムCD「幸（しあわせ）」をこのほど完成させました。

作詞作曲はグループ代表の梶原弘勝さん「中上」がそのほとんどを務め、下小児童や教師、地元住民が「歌手」となって全八曲を収録。ジャケットも自前で製作するなどすべて手作りのほのぼのとした作品に仕上がりました。

意外にも楽器は全くできないという梶原さんは、以前から作曲に興味があり、数年前に作曲用のパソコンソフト

を見つけ即購入。これまでに三十曲ほどを手がけ「曲を作ってからそれに詞をつける」という自分のスタイルも確立したそうです。

今回の作品について梶原さんは「前回に比べ、ステップアップしていると思います」とにっこり。今後は「曲を提供してくれる人や歌ってくれ仲間を増やし、一年後くらいには三作目を出したい」と意欲を語っていました。

このCDは下有住地区内の三店のほかインターネットショップ「遠野かつば夢市場」でも販売しています。



親しみある窓口を目指して

町民生活課 課長 本田 豊

はじめに

町民生活課では、住民環境係と税務係が一体となり、町民の皆さまのご相談にスムーズにお応えできるように心がけています。

今回は、多くの皆さまの生活に係る窓口業務についてお知らせします。

戸籍届の本人確認について

窓口では、出生や婚姻などの戸籍届の受付、転入転居転出などによる住所変更の手続き、就職退職などに伴う国民健康保険や国民年金などの手続きと保険証の発行、などを行っています。また、戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明書、住民基本台帳カード、などの発行も行っています。

本町では、平成十六年二月から婚姻・離婚・養子縁組・養子縁組の届出とこれらの届出の不



お気軽にご相談ください

受理申出取下的際に、ご本人の確認をさせていただいています。これは、本人の知らない間に届出されることを未然に防ぎ、また早期に発見するために行っているものです。届出の際には運転免許証、パスポート、住民基本台帳カードなど写真の付いた身分証明書を提示していただき、届出人がご本人であることを確認させていただきます。

また、代理人による届出や身分証明書を所持しない場合は、後日ご本人宛てに受理した旨の通知を郵送し、内容をご確認していただいています。お手数をおかけしますが、ご理解のうえ、引き続きご協力をお願いいたします。

お引越し・就職・退職の届出はお早めに

お引越しをされたとき、また就職や退職をされたときは届出する必要があります。

平成十五年度、体育施設の運営に要した経費は約千七百十万円です。(表1)この経費から収入約四十八万円(表2)を差し引いた約千六百六十万円を町が負担しました。

シリーズ 事務事業の収支決算

体育施設編

1千6百万円の町負担

町では、生涯スポーツの推進により町民の皆さんの健康づくりを図るため、社会体育館、運動公園(野球場・テニスコート)、河川公園、生涯スポーツセンター、有住中学校夜間照明施設といった体育施設を運営しています。

平成十五年度、体育施設の運営に要した経費は約千七百十万円です。(表1)この経費から収入約四十八万円(表2)を差し引いた約千六百六十万円を町が負担しました。

これを町民一人当たりで換算すると、約二千三百円を負担することになります。

利用者一人あたりの経費

平成十五年度に、体育施設を利用した方は延べ三万七千五百八十三人でした。利用者一人当たりにかかった経費は約四百六十円です。このうち利用者の皆さんには約十円を負担していただき、町は残りの四百五十円を負担したことになります。

表1 支出 (単位:千円)

項目	金額	摘要
人件費	6,186	職員、管理委託
総務費	322	消耗品費、電話料など
施設光熱費	5,292	燃料費、電気料、水道料など
施設管理費	5,344	修繕料、土地借上料など
合計	17,144	

表2 収入 (単位:千円)

項目	金額	摘要
使用料	480	利用者のご負担分

支出17,144千円 - 収入480千円 = 16,664千円(町の負担額)
町民一人当たりの負担額
16,664千円 ÷ 7,237人 2,300円

● トレーニングルームのご利用案内 ●

これから冬を迎えるにあたり、下有住生涯スポーツセンターのトレーニングルームのご利用についてお知らせします。運動不足の解消やストレス発散などに、ぜひご利用ください

利用時間は次のとおり ()は曜日
(火・水) 17:00~21:00 (木~土) 13:00~21:00
(日) 9:00~17:00
月曜・祝日・年末年始(12/29~1/3)は休館です
料金は無料です
中学生以上の方が利用できますが、中学生が午後5時以降に利用する際は保護者の同伴が必要です
初めての方は毎月第4火曜日に行われる「ピギナー教室」を受講ください(要予約)
◆問い合わせ先
教育委員会生涯学習係 ☎46 3863(直通)

アクションプラン まとめ、県に提言

中高一貫教育校設置推進委

住田町中高一貫教育校設置推進委員会(委員長・多田町長)は十一月十九日、生活改善センター研修室において、最後となる第三回の委員会を開催し、県と県教委に提出している中高一貫教育校の設置に関する提言書の実現に向けたアクションプランの内容を決定しました。この内容で、十一月二十六日に知事と県教育長に対し提言する予定です。

会議では菅野憲教育長から町内五地区で「意見を聞く会」を



21人の委員が出席し議論が交わされました

開催し賛同や激励の意見が大半だったことなど、これまでの経過が報告された後、事務局からアクションプランの案について説明。提言書の基本理念を再度確認したうえで具体的な設置形態や教育課程などを示しました。主な内容は次のとおり
県立の併設型中高一貫教育校で通学区域は県内一円、学級数は中学校が一年一〜二学級、高校は二〜三学級とする
中学一・二年を基礎期、中学三年・高校一年を選択期・充実期、高校二・三年を発展期とし、発展期には国際・情報、進学、環境・福祉の三コースを設定、地域教育協議会などを通じ、総合的学習や行事、部活動などの充実を図る
中高の六年間という一貫・継続した教育を通して、国際社会の一翼を担う地域社会形成人の育成を目指す
町は生徒の通学補助や給食の提供など十一の支援策を講じる
県の行財政構造改革プログラムに基づき、平成十八年度に実施校を選定、二年間の研究指定を経て、平成二十年度に県内初の設置を目指す

これらについて協議した結果、大筋で了承され、議会全員協議会への説明を経て、県と県教委に要望することとなりました。

新潟県中越地震被災地に職員派遣

新潟県中越地震の被災地を支援するため、気仙三市町が連携して新潟県長岡市に職員を派遣しました。本町からは佐々木喜之主事(総務課)と泉俊明主事(保健福祉課)の二人を派遣。期間は十一月二日から八日までの一週間でしたが、初日と最終日は移動日となったため、実質五日間に渡り、現地災害対策本部で主に救援物資の仕分け作業にあたりました。



「使えない」ため山積みされた衣類など

本町から今回のような大規模な被災地に職員を派遣したのは初めてのことで、兩名は現地で多くのことを学び、帰庁後は職員に対しての報告会を開催しました。主な内容は次のとおり
・他人を助けようとして自分がけがをしたり事故を起こしたりしては、より多くの救援の人手が必要になる。無理をせず自分の身の安全を確保するのが第一



被災の様子。倒れているのは小学校の校門

・物資はダンボールに入れ、長期間保存できるように密封する
また、中身が分かるよう箱の外側に品名と数量、衣類であれば男性用、女性用、子ども用などを明記してほしい
・「こんなものでも役に立てば」と送るものは、現地でも「こんなもの」扱いをされる。例えば焼酎のペットボトルに水道水を入れたものなど
・非常食としてカップラーメンが大量に送られてきたが、一度に数百人分のお湯を沸かすのはほぼ不可能。あまり役に立っていない

中央公民館
図書室 だより

■ お知らせ ■

● クリスマスの本展

今年もクリスマスの季節ですね。図書室では、クリスマスにちなんだ一押しの本を集め、皆さんに紹介します。

期間は**12月14日(火)～26日(日)**です。ぜひお越しください。

本の読み聞かせ会
12月は
12月18日(土) 10:30～ です
お気軽にご参加ください

■ 新刊図書 ■

ガンピーさんのふなあそび
ジョン・バーニンガム さく
みつよし なつや やく



ガンピーさんの小舟に乗ったたくさんの子もたちや動物たち。みんな仲よく乗っていたけど、ずっと仲よくしていられたかな？

魔空の森 ヘックスウッド
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作
駒沢 敏器 訳



スタジオジブリの最新作「ハウルの動く城」原作者の代表作。ロンドン郊外の森と大銀河を結ぶ、時空を超えたファンタジーです。

天に昇った命、地に舞い降りた命
杉山 晴美



米同時多発テロで夫を亡くした妻は、当時妊娠3カ月。テレビドラマの原作にもなった、悲しみと絶望からの再生を綴る感動の手記です。

◆問い合わせ先 中央公民館図書室
☎46 2111(内線333)

犬・ねこは
正しく飼いましょう
最近、犬やねこなどペットに関する苦情が増えています。飼い主の方は、次のルールを守って他人に迷惑や危害などを与えないようにしましょう。



野良ねこにえさをやるとその周辺にねこが集まり、家に入ったり子どもに危害を加えたりします。飼い主と見なされますので、えさをやる際は責任を持っていただくようお願いいたします
犬を散歩する際、糞などの汚物はきちんと処理しましょう
◆問い合わせ先 町民生活課住民環境係 ☎46 2113(直通)

岩手県から死亡労働災害をなくそう運動

実施期間 / 平成16年12月1日
～平成17年1月31日

○事業場での重点実施事項
共通事項 危険有害要因の把握、それに基づく改善計画の策定と実行
製造業 危険箇所への立入禁止または立入時の連絡調整
建設業 建設機械作業の安全確保・安全な足場の確保
林業 かかり木の適正処理・近接作業の禁止
陸上貨物運送業 深夜走行時の運行管理
土石採取業 コンベヤーなど運搬機械の洗剤危険(巻き込まれ、墜落・転落)の周知
◆問い合わせ先 岩手労働局安全衛生課 ☎019 604 3007

NHK学園
生徒・学生募集

学校法人NHK学園は“どこでも、誰でも学べる”全国一学区の広域通信制高等学校として開校し、これまで58,000人以上の卒業生を送り出してきました。平成17年度も次の過程・コースの生徒・学生を募集します。()は対象
①高等学校普通科・選科(中学校を卒業した方または平成17年3月卒業見込みの方。高等学校を中退した方)②専攻科・社会福祉コース(高等学校を卒業した方または平成17年3月卒業見込みの方)③社会福祉士養成課程(4年制大学を卒業した方。短大、高校卒業後社会福祉施設で2～4年以上の相談援助業務を経験した方)④生涯学習(一般)
詳しくはNHK学園 ☎042 572 3151)までお問い合わせください

年内の汲み取り
お申し込みはお早めに!
年末年始の休業日は
12月30日(木)午後
～1月5日(水)です
年内の汲み取りご希望の方は
12月13日(月)までにお申し込みください
問い合わせ先
㈱気仙広域清掃 ☎27 9321

不動産登記事務のコンピュータ処理について
盛岡地方法務局大船渡出張所では、11月29日(月)から、不動産(土地・建物)の登記事務をコンピュータ処理により行います。これにより、従来の登記簿の謄本・抄本及び閲覧の取り扱いが次のとおり変わります。
1 謄本・抄本に代わる「登記事項証明書」の発行
この証明書(全部事項と一部事項の2種類があります)は、登記簿の謄本・抄本と見なされます。手数料は1通1,000円(10枚以上は5枚ごとに200円加算)で、郵送での請求もできます
2 閲覧に代わる「登記事項要約書」の発行
この要約書(一定の登記事項を要約したものは、交付年月日や認証文などは付されず、郵送での請求もできません。手数料は1つの物件の登記記録につき500円(5枚以上は5枚ごとに100円加算)です。
3 登記申請手続きについて
所有権移転や抵当権設定などの登記申請手続きは従来と変更ありません。商業・法人登記、工場財団などの、みなし不動産はコンピュータ処理はしません
◆問い合わせ先 盛岡地方法務局大船渡出張所 ☎26 2606



いわて農林水産業賞を受賞



農事組合法人
いわて清流ファームの皆さん

「まだ満足はしていません。やりたいことはもっとあるんです」と意欲を見せるのは農事組合法人いわて清流ファームの佐々木照美組合長。同組合は平成三年に設立。最新の生産管理システムの導入などにより順調に肥育頭数を伸ばし、その技術は現在国内でも高く評価され、今年十月、優れた経営を行っている農林水産業者に贈られる「いわて農林水産業賞」を受賞した。

経営で常に心がけているのは「地元の人たちに助けてもらっていることへの感謝」という。年に一回、農場の敷地内に作った「いわなの樓(す)む池」に地元の方々を招待してパーベキューを振る舞うほか、農業祭りへの積極的な参加や、学校給食への豚肉の無償提供など、地元へのPRにも力を入れている。住田になくはならない農場、地元の人に必要とされる農場にしたいんです」と、地域密着の企業作りを目指す。また「病気など衛生面の管理」にも常に気を配っている。来客であっても靴は長靴に履き替え、豚舎に入る際は入浴の後農場用の衣服に着替えてもらう徹底ぶり。一度病気が入ってしまうと生育に大きな

支障を来すだけでなく、世話をする社員の意欲減退にもつながるためだという。現在社員はパートも含め三十二人。創業当時は入退社が多かったが、今ではベテラン社員も増えてきた。また、豚一頭ごとをコンピュータ管理しているため、各担当の成績が数字で毎月打ち出される。これにより自分の仕事を自分で評価・反省し、また同僚の間で競争が生まれる。これが社員のやる気にもつながっているのだという。

社員教育にも積極的で、海外への研修や各種技術研修も実施。自分が担当する部門だけでなく、農場全体を見渡すことができる社員を育てたい」と期待を込める。現在は月二千五百頭を出荷年間の枝肉平均重量は七十六キログラムと、高い飼育レベルを誇るが、佐々木組合長は「月二千八百頭で枝肉平均重量七十六キログラムとさらに高い目標を掲げた。今のやり方を突き詰めていけば、達成できるでしょう」と自信をのぞかせる。その言葉の裏には、これまで築いてきた経験と実績、そして向上心あふれる社員と常に「もう一步上」を目指す経営者としてのチームワークの良さを感じた法人を設立して十三年。いわて清流ファームの飽くなき挑戦はこれからも続く。

スポーツコーナー

有中・高橋(佑)が全国4位

十月二十九日から三十一日まで横浜国際総合競技場で開催された第三十五回ジュニアオリンピック陸上競技大会に県代表として本町から有住中の二人が出場しました。

B男子四百メートルに出場した三年の高橋佑輔君は、今年八月の全日本中学校陸上競技選手権大会での優勝という実績とブレッシングの中、50秒42の記録で四位入賞を果たしました。また、C女子砲丸投げに出場した二年の多田碧里さんは、初の全国大会でしたが、決勝三投の結果、最後の八人に残ることはできませんでした。



高橋くん(右)と多田さん(上)

県民体・本町は総合21位

第五十六回岩手県民体育大会
男子 22位(218.0点)
女子 18位(74.0点)
総合 21位(292.0点)
主な結果 ゴルフ(成年男子団体)第三位 バレーボール(成年男子)第九位制B) 第三位 空手(少年女子形) 第三位 黒澤香織(大船渡工) 陸上(男子四部)二百メートル 第一位・深澤重樹(男子六部) 砲丸投げ 第二位・菊池悟

表彰の秋

各方面で表彰などを受けられた方々をご紹介します。(順不同、敬称略)
平成十六年度統計功労者表彰 総務大臣表彰 千葉幸一(奥火の土) 県知事感謝状 水野清(小台)
県社会福祉大会表彰(知事表彰) 紺野朋夫(日向) 大会長表彰 民生・児童委員 松田ケイ(大崎)
第十四回県火災予防フェスティバル(県婦人消防連絡協会会長表彰) 地区支部役員功労章 多田弘子(本町) 市町村役員功労章 多田弘子 隊員功労章 高木葉子(火の土) 水野礼子(中井) 佐々木徳代(清水沢) 澤田れい子(西野)

12月の暮らしに役立つ

カレンダー

町民の動き ()内は前月比
平成16年10月末日現在

人口 7,059人 (-10)
男 3,378人 (+8)
女 3,681人 (-2)
世帯数 2,233世帯(+1)

日	月	火	水	木	金	土
個人町民税・県民税 37年連続完納! 皆さまのご協力により、昨年も個人町・県民税の完納を達成しました。 今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。			1 (大安)	2 (赤口)	3 (先勝) 人権相談 10:00~15:00 (農) 歯っぴい会 13:00~ (保) 住高修学旅行 (~7日)	4 (友引) 有保生活発表会
5 (先負) 歳末たすけあい 芸能祭 12:00~ (農)	6 (仏滅)	7 (大安) 食生活改善推進 員養成講座 10:00~ (保) 育児支援事業 10:00~ (児)	8 (赤口)	9 (先勝)	10 (仏滅) 乳児相談 9:30~ (保) デイケア自主活 動日 13:00~ (保)	11 (大安) 第5回住田町地 区対抗綱引大会 19:00~ (生)
12 (赤口) 「家庭の日」	13 (先勝)	14 (友引) 行政相談 9:30~11:30 (農) 食生活改善推進 員養成講座 9:30~ (保)	15 (先負)	16 (仏滅) リハビリ教室 10:00~ (保)	17 (大安)	18 (赤口)
19 (先勝) 上小日曜参観日	20 (友引)	21 (先負)	22 (仏滅) 世小・上小・町 内中学校2学期終 業式 住高2学期終業式 世保クリスマス会	23 (大安) グリーンベルカッ プ第3回小学生バ レーボール大会 (生)	24 (赤口) 下小2学期終業式 有保クリスマス会 デイケア 10:00~ (保)	25 (先勝)
26 (友引)	27 (先負)	28 (仏滅) 火災予防年未年 始特別警戒 (~1月3日)	29 (仏滅)	30 (仏滅)	31 (仏滅)	

日時は都合により変更になる場合があります。

(保)=保健福祉センター (生)=生涯スポーツセンター (農)=農林会館 (児)=下有住児童館

お知らせ おねがい

人権相談所を 開設します

◆日時 12月3日(金)
10:00~15:00
◆場所 農林会館
◆問い合わせ先 町民生活課
☎46 211ㄨ(直通)

個人事業税第2期分 納期限は11月30日

11月中旬に納付書をお送りしていますので、忘れずに納めましょう。
◆問い合わせ先 大船渡地方振興局企画総務部税務室☎27 9912

製造事業所の皆さまへ 統計調査にご協力ください

平成16年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査員が今年12月から来年1月にかけてお伺いします。内容は統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。
◆問い合わせ先 総務課行政係☎46 211ㄨ(直通)

ペットの鶏や家きん類を 飼われている皆様へ

渡り鳥が飛来してくる季節を迎えます。鳥インフルエンザについて、正しい知識で病気の侵入を防ぎましょう。
渡り鳥から野鳥へうつることはありませんが、水や人などを介してうつる心配があります。飛来地には近づかないようにしましょう。
飼っている建物などは定期的に石灰などを散布して消毒、清掃して野鳥やネズミが入り込まないように気をつけましょう。また、これからの季節はできるだけ放し飼いをやめましょう。
突然死亡したり健康状態に異常がみられた場合は、すぐに連絡してください。

◆問い合わせ・連絡先 産業振興課農政係☎46 3861(直通) 水沢家畜保健衛生所☎0197 23 3531

ユニバーサルデザイン 講演会を開催します

◆日時 12月18日(土)
9:30~16:00
◆場所 陸前高田市市民会館
◆内容 午前は車イスや白杖などを使用したキャップハンディ体験を、午後はユニバーサルデザインについての講演会を行います。午前のキャップハンディ体験の参加者も同時に募集しています。
◆問い合わせ先 大船渡地方振興局保健福祉環境部☎27 9913

行政相談のお知らせ

国・県・町の仕事について、困っていることなどがありましたら相談に応じます。
◆日時 12月14日(火)
9:30~10:30
◆場所 農林会館
◆問い合わせ先 総務課行政係☎46 211ㄨ(直通)

自衛隊生徒募集

◆受験資格 平成17年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業(卒業見込みを含む)
◆受付期間 平成17年1月11日(火)まで
◆採用予定数 自衛隊生徒【陸上】約250人【海上】約60人【航空】約50人
◆試験期日 平成17年1月15日(土)
◆問い合わせ先 自衛隊釜石募集事務所☎0193 23 7854

電話帳を 配達・回収します

NTT東日本岩手支店では、12月中旬に順次新しい電話帳をお届けします。その際、現在お使いの電話帳は配達員へお渡しください。渡せなかった場合は後日改めて回収に伺いますので下記までご連絡ください。
問い合わせ先 タウンページセンター☎0120 506 309

工事などの入札結果

工事名など()内は工事場所など	契約額	契約業者
平成16年度災害測量設計業務委託	766,500	㈱菊池技研コンサルタント
林道猿楽線災害測量設計調査業務委託	2,415,000	㈱菊池技研コンサルタント
町営住宅清水橋団地下水道接続工事	1,365,000	東峰建設(株)

お詫びと訂正 10月号の7ページ「おたがのまちづくり情報」中「紺野一郎実行委員長」は「紺野寿美実行委員長」、8ページ町消防演習の「表彰・披露された方々」中「勤続章 紺野富雄」は「精績章 紺野富雄」、17ページ「図書室だより」中「告白」は「空白」のそれぞれ誤りでした。訂正してお詫びします。

牛肉のトレーサビリティ 牛の個体識別

国産牛肉の安全・安心を確保するため、12月1日から牛肉のトレーサビリティ(生産流通履歴情報の把握)が可能になります。
国内で生まれたすべての牛と輸入牛に10桁の個体識別番号が印字された耳標が装着されます。
この番号によって、性別や種別、出生からとさつまでの養育地などがデータとして記録されます。
枝肉・部分肉・生肉と加工され流通する過程で関わる販売業者などにより、個体識別番号が表示され、仕入れの相手先などが帳簿に記録・保存されます。
購入した牛肉に表示されている個体識別番号により、インターネットを通して生産履歴を調べることができます。

戦後外地から引き揚げて 来られた方々へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かりした、次のような未返還の保管証券類をお返ししています。
上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券
帰国前に樺太(真岡・大泊・豊栄・留多加など)、満州(瀋陽・吉林・撫順・鞍山など)にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券などのうち、日本に返還されたもの
請求はご本人だけでなくご家族の方々でも構いません。
◆問い合わせ先 函館税関大船渡税関支署☎26 2326

親子創作活動の つどい

◆日時 12月12日(日)
9:00~12:30
◆場所 県立高田松原野外活動センター
◆内容 親子が協力して次の3つのうちの1つを製作します。
門松 リース 焼板壁掛け
◆参加料 製作するものによって異なりますので、申し込み時にご確認願います
◆問い合わせ先 県立高田松原野外活動センター☎54 5115

『お祝いお悔やみ』と『とびだせちびっ子』は、承諾を得た方だけ掲載しています。

お祝いお悔やみ

10月届出分(敬称略)

お誕生おめでとう

住所	子の名前	性別	親の名前
本町	佐々木 希 ^あ 愛 ^り	女	淳一=恵
山脈地	小松平 紀 ^ゆ 花 ^ま	女	繁幸=真希子
小口洞	石川 結 ^ゆ 麻 ^ま	男	修=栄子
川口	吉田 有 ^い 希 ^き	女	文夫=劉瑛
中上	佐藤 太 ^み 生 ^う	男	邦生=由利
金成	菊池 心 ^ゆ 優	女	克則=ヤエ子

お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
中上	鈴木 慶治	87	八シメ
二度成木	平賀 博	45	恵美
小口洞	山内 茂	73	和枝
西風	水野 トシ	92	孝静
天嶽	千葉 キヨヘ	100	孫作
大畑	高橋 文一郎	89	勲
八日町	千葉 スエノ	88	篤子
竹ノ原	紺野 セツ子	75	唯一
新切	立花 フヨノ	73	正志
中上	金野 フジ	85	章
向村	菅野 普夫	80	正司
川向	熊谷 良一	67	好子

交通安全情報 10月末日現在 ()内は年累計

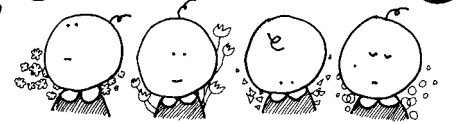
人身事故	1件(12件)
物損事故	11件(84件)
飲酒運転検挙者	5人(10人)

『ゆとりもて 時間に心に 運転に』

『はな』の制作は思いがままでも、大さく先月まで、お話を聞かせていただき、ありがとうございました。『はな』の制作は思いがままでも、大さく先月まで、お話を聞かせていただき、ありがとうございました。

発行 住田町
〒029-2396
岩手県気仙郡住田町世田米字川向96番地 1
☎0192-46-2111(代) FAX0192-46-3515
URL <http://www.town.sumita.iwate.jp/>
E-Mail sumita@town.sumita.iwate.jp

とびだせちびっ子



92

このコーナーでは、町内のかわいい1歳児をご紹介します

『お母さんからやさしい子に育ってね』



紺野 美希 ちゃん(女)
(一義さん・文子さん・土倉)

『ひいおじいさんから丈夫に育っていただきたい』



藤井 琉唯 くん(男)
(剛さん・全子さん・土倉)

『お母さんから健やかにやさしい子に育ってね』



小野田 結月 ちゃん(女)
(利文さん・千秋さん・大崎)

()内は保護者名:地区名

うおっちゃんぐ in すみた



町で見かけた、住田の美しい風景や風物詩などを毎月ご紹介します。



【イチョウのじゅうたん】 浄福寺の参道に広がる黄色い“じゅうたん”。樹齢400年を超えるイチョウの大木から舞い降りた葉の一枚一枚が織りなす。雨上がりの穏やかな日、雨のしずくを含んだその一枚一枚は、深い金色の輝きを放ち、日本人がもつ「趣」の心に染み入る。

